

新スタジアム整備へ前進

清水駅前 静岡市とエネオス合意 遊休地活用



静岡市は15日、JR清水駅東口の遊休地を所有するENEOS(エネオス)と、遊休地開発を中心とした地域づくりの推進に関する合意書を締結したと発表した。市は遊休地を新サッカースタジアムの最有力候補地として、新設する場合は商業施設などを併設した「スタジアム・パークシティー」として整備する方針を示した。長年の構想段階を経て、サッカーJリーグ1部(J1)清水エスパルスの新本拠地として活用するスタジアム整備が前進した。

同日、難波喬司市長と山口敦治社長が非公開で面会し、合意書を交わした。合意により、両者は遊休地となつている清水製油所跡地約14haを活用し、まちづくりの具体的な検討を進める。市が一部を購入した後、周辺の土地の地権者と土地区画整理事業組合を設立

- 2014年7月 ▶ IAIスタジアム日本平がJ1の施設基準の一部を満たさず、清水エスパルスなどが新スタジアム建設を市に要望
- 17年1月 ▶ 清水区の経済人らでつくる「魅力ある清水を創る会」が市にJR清水駅東側でのスタジアム建設を提言
- 18年3月 ▶ 遊休地での液化天然ガス(LNG)火力発電所計画が中止
- 21年7月 ▶ 市とエネオスが清水港周辺での次世代型エネルギー推進と地域づくりに関する基本合意を締結
- 23年2月 ▶ 新スタジアム構想に関する市の検討委員会が遊休地を最有力候補地に選定。一方で現地改修の代替案も残した
- 24年3月 ▶ 市がスタジアム改修の概算費用を約150億円と試算し、遊休地で整備する場合の市負担額の参考とする方針を示した
- 25年8月 ▶ 市とエネオスが遊休地の土地開発手法の確認や袖師地区を中心とした地域づくりの推進に関する合意を締結

エネオス遊休地とスタジアム構想を巡る経過し、土地造成を行う。タンクなどの設備撤去や土地造成の費用負担などについても協議する。

エスパルスが本拠地としているIAIスタジアム日本平(清水区)は老朽化が進み、大規模改修が必要。エスパルスはJ1の施設基

市は昨年3月、IAIスタジアムを大規模改修する場合に、約148億円の費用がかかるとの試算を公表。合意により清水駅前での新スタジアム整備の検討が可能になったとし、改修案と新設案の費用を改めて試算し、比較検討する。

どちらの案を採用するかを来年3月末までに決め、新設の場合には土地購入費の来年度当初予算への計上を目指す。これまで難波市

長は「大規模改修よりも、清水駅東口周辺でスタジアムを含むまちづくりに投資する方が社会的な便益が高い」との認識を示していた。

難波市長は15日に市役所静岡庁舎で開いた記者会見で、清水駅前の交通アクセスや周辺の景観を強みに挙げ「スタジアム・シティー」の形で、ホテルや商業施設、公的施設も入れるのがまちづくりのポイントになる」と指摘。一方で「スタジアムは市の負担だけではできない」とし、民間投資を呼び込む意向を示した。

実現へ大きな一歩

山室晋也清水エスパルス社長の話 ファン、サポーター、地域の皆さまが待ち焦がれていた新スタジアムの実現に向けて非常に大きな一歩を踏み出すことができたことを認識しています。これからクリアしなければいけないハードルはありますが、多くの関係者のご協力、ご支援をいただき早期の実現を期待しております。



コストコが出店に向けて地権者組織と協議していることが分かった
東名高速道日本平久能山スマートインターチェンジ南側用地
7月中旬、静岡市駿河区（本社ドローンで撮影）



コストコが出店に向けて地権者組織と協議していることが分かった
東名高速道日本平久能山スマートインターチェンジ南側用地
7月中旬、静岡市駿河区（本社ドローンで撮影）

東名日本平SIC南

静岡市駿河区の東名高速道日本平久能山スマートインターチェンジ（SIC）南側の大規模開発を巡り、米国系会員制大型スーパー「コストコ」の出店に向けた地権者の宮川・水土地区画整理組合と運営法人側との協議が最終段階に入ったことが18日、分かった。2029年までの出店を視野に、詳細な立地場所や土地取得を巡る条件などを詰める。関係者によると、コストコ側は出店の条件として、駐車場も含めて敷地6万平方メートル程度、売り場面積1万平方メートル超を求めているという。

土地組合法人と協議

コストコ 駿河区出店へ

の規制緩和を要望した。市長が前向きな考えを示したことに基づき、事業計画の引き合いが増え、以前から同地区への出店に関心を示していたコストコ側との協議が進んだという。

静岡市は今年1月、同地区で延べ床面積2万平方メートル、売り場面積1万2千平方メートルの大規模集客施設を立地できるような審査基準と条例指針を改定した。難波市長は2月の記者会見で具体的な出店店舗については言及を避けたものの、「宝のような立地を最大限有効活用するために公共投資を加速し、4年以内に立地できるようにしたい」と意欲を示していた。

店舗を運営するコストコホールセールジャパン（本社・千葉県東津守市）の広報担当者は18日までの取材に「日本全国で出店候補地を探している。計画・検討中の案件に関して情報をお伝えすることはできません」と答えた。